

「少林寺拳法創始70周年 東京進出60周年記念」 2017年 少林寺拳法東京都大会 大会要項

NO	項 目	内 容																																													
1	名 称	「少林寺拳法創始70周年・東京進出60周年記念」2017年 少林寺拳法東京都大会 《以降、「2017年 少林寺拳法東京都大会」と略す》																																													
2	目 的	少林寺拳法東京進出60周年の契機に、東京都少林寺拳法連盟の拳士相互の一層の技術の向上と練磨、並びに同志的連帯意識と昂揚を図り、部外者への周知・理解・協力を図ること 世界大会出場者の壮行会も兼ねる																																													
3	日 時	2017年7月16日(日) am9:00～pm5:00(終了予定) 開場 9:00 大会開始10:00 実行委員集合8:00																																													
4	会 場	東京武道館 《住所》足立区綾瀬3-20-1 TEL03-5697-2111																																													
5	主 催	東京都少林寺拳法連盟																																													
6	共 催	関東実業団少林寺拳法連盟 関東学生少林寺拳法連盟 東京都高等学校体育連盟少林寺拳法専門部 東京都中学校少林寺拳法連盟																																													
7	後 援	東京都、(公財)日本武道館、報知新聞社、(公財)東京都体育協会、(株)伊藤園																																													
8	大会役員 (2017年3月末現在)	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 20%;">大会 会長</td> <td style="width: 40%;">西原 春夫</td> <td style="width: 30%;">:東京都少林寺拳法連盟</td> <td style="width: 10%;">会 長</td> </tr> <tr> <td>大会 副会長</td> <td>久保 博</td> <td>:東京都少林寺拳法連盟</td> <td>副会長</td> </tr> <tr> <td>(予定)</td> <td>青木 豊</td> <td>:全日本・関東実業団少林寺拳法連盟</td> <td>会 長</td> </tr> <tr> <td>(予定)</td> <td>三浦 信行</td> <td>:関東学生少林寺拳法連盟</td> <td>会 長</td> </tr> <tr> <td>(予定)</td> <td>松木 尚</td> <td>:東京都高等学校体育連盟少林寺拳法専門部</td> <td>部 長</td> </tr> <tr> <td>(予定)</td> <td>吉田 晋</td> <td>:東京都中学校少林寺拳法連盟</td> <td>会 長</td> </tr> <tr> <td>大会名誉顧問</td> <td>本庄 八郎</td> <td>:東京都少林寺拳法連盟</td> <td>名誉顧問</td> </tr> <tr> <td>実行委員長</td> <td>前田 保男</td> <td>:東京都少林寺拳法連盟</td> <td>理事長</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">副実行委員長</td> <td>根本 武美</td> <td>:関東実業団少林寺拳法連盟</td> <td>理事長</td> </tr> <tr> <td>宇野 真里奈</td> <td>:関東学生少林寺拳法連盟</td> <td>委員長</td> </tr> <tr> <td>福家 健司</td> <td>:東京都高等学校少林寺拳法専門部</td> <td>委員長</td> </tr> <tr> <td>早川 正信</td> <td>:東京都中学校少林寺拳法連盟</td> <td>理事長</td> </tr> </table>	大会 会長	西原 春夫	:東京都少林寺拳法連盟	会 長	大会 副会長	久保 博	:東京都少林寺拳法連盟	副会長	(予定)	青木 豊	:全日本・関東実業団少林寺拳法連盟	会 長	(予定)	三浦 信行	:関東学生少林寺拳法連盟	会 長	(予定)	松木 尚	:東京都高等学校体育連盟少林寺拳法専門部	部 長	(予定)	吉田 晋	:東京都中学校少林寺拳法連盟	会 長	大会名誉顧問	本庄 八郎	:東京都少林寺拳法連盟	名誉顧問	実行委員長	前田 保男	:東京都少林寺拳法連盟	理事長	副実行委員長	根本 武美	:関東実業団少林寺拳法連盟	理事長	宇野 真里奈	:関東学生少林寺拳法連盟	委員長	福家 健司	:東京都高等学校少林寺拳法専門部	委員長	早川 正信	:東京都中学校少林寺拳法連盟	理事長
大会 会長	西原 春夫	:東京都少林寺拳法連盟	会 長																																												
大会 副会長	久保 博	:東京都少林寺拳法連盟	副会長																																												
(予定)	青木 豊	:全日本・関東実業団少林寺拳法連盟	会 長																																												
(予定)	三浦 信行	:関東学生少林寺拳法連盟	会 長																																												
(予定)	松木 尚	:東京都高等学校体育連盟少林寺拳法専門部	部 長																																												
(予定)	吉田 晋	:東京都中学校少林寺拳法連盟	会 長																																												
大会名誉顧問	本庄 八郎	:東京都少林寺拳法連盟	名誉顧問																																												
実行委員長	前田 保男	:東京都少林寺拳法連盟	理事長																																												
副実行委員長	根本 武美	:関東実業団少林寺拳法連盟	理事長																																												
	宇野 真里奈	:関東学生少林寺拳法連盟	委員長																																												
	福家 健司	:東京都高等学校少林寺拳法専門部	委員長																																												
	早川 正信	:東京都中学校少林寺拳法連盟	理事長																																												
9	大会種目	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 20%;">小学生の部</td> <td colspan="3">小学生自由 規定:小学生(1級・2級・3級・4級・5級・6級・7級・8級～見習)</td> </tr> <tr> <td>中学生の部</td> <td colspan="3">中学生男子 中学生女子</td> </tr> <tr> <td>一般の部</td> <td colspan="3">男子(五段以上 四段 三段 初・二段 級) 女子(三段以上 初・二段 級) 一般男女有段 マスターズ(男子・女子) 大学生(男子・女子・男女) 高校生(男子・女子) 夫婦 親子A・B 剛法演武(資格問わず)</td> </tr> <tr> <td>団体の部</td> <td colspan="3">一般団体 中学・高校生団体 小学生団体3級以上 小学生団体4級以下</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">運用法の部</td> <td colspan="3">男子運用法 女子運用法</td> </tr> <tr> <td colspan="3">必須防具: (一般財)少林寺拳法連盟公認の防具のみの使用とする 公認ヘッドガード、公認ボディプロテクター、公認拳サポーター、公認ファールカップ マウスガード(必須:市販の物でも可) ※6/18 予選実施予定</td> </tr> <tr> <td>障がい者の部</td> <td colspan="3">詳細については、NO19を参照のこと</td> </tr> </table>	小学生の部	小学生自由 規定:小学生(1級・2級・3級・4級・5級・6級・7級・8級～見習)			中学生の部	中学生男子 中学生女子			一般の部	男子(五段以上 四段 三段 初・二段 級) 女子(三段以上 初・二段 級) 一般男女有段 マスターズ(男子・女子) 大学生(男子・女子・男女) 高校生(男子・女子) 夫婦 親子A・B 剛法演武(資格問わず)			団体の部	一般団体 中学・高校生団体 小学生団体3級以上 小学生団体4級以下			運用法の部	男子運用法 女子運用法			必須防具: (一般財)少林寺拳法連盟公認の防具のみの使用とする 公認ヘッドガード、公認ボディプロテクター、公認拳サポーター、公認ファールカップ マウスガード(必須:市販の物でも可) ※6/18 予選実施予定			障がい者の部	詳細については、NO19を参照のこと																				
小学生の部	小学生自由 規定:小学生(1級・2級・3級・4級・5級・6級・7級・8級～見習)																																														
中学生の部	中学生男子 中学生女子																																														
一般の部	男子(五段以上 四段 三段 初・二段 級) 女子(三段以上 初・二段 級) 一般男女有段 マスターズ(男子・女子) 大学生(男子・女子・男女) 高校生(男子・女子) 夫婦 親子A・B 剛法演武(資格問わず)																																														
団体の部	一般団体 中学・高校生団体 小学生団体3級以上 小学生団体4級以下																																														
運用法の部	男子運用法 女子運用法																																														
	必須防具: (一般財)少林寺拳法連盟公認の防具のみの使用とする 公認ヘッドガード、公認ボディプロテクター、公認拳サポーター、公認ファールカップ マウスガード(必須:市販の物でも可) ※6/18 予選実施予定																																														
障がい者の部	詳細については、NO19を参照のこと																																														
10	参加組数	参加団体内の出場組数の上限は設けない																																													

NO	項 目	内 容
11	出場費	1種目につき1人あたり 1,000円 例)組演武の場合 1,000円×2名=2,000円 団体演武8人の場合 1,000円×8名=8,000円 ※1人2種目に出場する場合は、1人あたり2,000円
12	出場資格	以下の条件を満たしている拳士であること ①2017年度の(一般財)少林寺拳法連盟の会員であること ②所属先が東京都少林寺拳法連盟に加盟・準加盟していること ③上記①の所属先団体(所属長)が2017年度東京都少林寺拳法連盟の年会費納入済であること ④所属先が関東実業団少林寺拳法連盟に加盟し、且つ、部の所在地が東京都内であること (例年、他県の競技大会に出場していないことを条件とする) ⑤所属先が関東学生少林寺拳法連盟に加盟し、且つ、活動の所在地が東京都内であること (例年、他県の競技大会に出場していないことを条件とする) ⑥所属先が東京都高体連少林寺拳法専門部に所属していること ⑦所属先が東京都中学校少林寺拳法連盟に所属していること
13	出場種目および資格	出場種目: <u>1拳士につき、組演武エントリーは1種目とする</u> 運用法および団体演武への併用出場は可とする 出場種目の資格のうち、近年の <u>全国大会レベル出場選考対象となるのは、同資格または異なる武階の差は1まで</u> とするとなっているが、種目によっては上記の通りではない場合があるので「競技に関する詳細」を参照のこと。但し、 <u>都大会出場に関しては柔軟に対応する</u>
14	演武内容	組演武構成: 自由組演武とする 但し「剛法演武の部」のみは防具着用の剛法のみとする 団体演武: 団体規定に則って自由構成 小学生については、「小学生自由の部」のみ自由組演武とし、左記以外の種目については2017年度少年少女錬成大会での規定組演武を採用する
15	別日予選実施について	以下の種目はスケジュールの関係上以下の日程で別途予選を実施予定 ①「男子運用法の部」 ②「女子運用法の部」 日 時 6月18日(日) 9:00集合 10:00予選開始～12:30(終了予定) 会 場 東板橋体育館
16	競技に関する詳細	別紙を参照のこと
17	服装について	①「服装規定」に準ずる ②髪留めは、ゴム製のみ ③ <u>メガネの使用の場合は、事前に大会本部に申請書の提出のこと</u>
18	危機管理	競技中のケガ等については、応急処置のみ行う。また治療費については、大会実行委員会で加入している保険の補償範囲内で対応するが、出場拳士各自がスポーツ保険等加入すること また、会場内・外での盗難、その他のトラブルについては、一切責任は負わない

NO	項 目	内 容
19	障 が い 者 の 部 に つ い て	<p>《参加資格》</p> <p>①参加資格については、「NO12.出場資格」を参照のこと</p> <p>②身体障がい者手帳・療育手帳・精神障がい者保健福祉手帳のいずれかの交付、また医師より障がいの診断を受けている者。 ※障がいの種類及び度合いは不問。年齢、性別は不問。</p> <p>③引率責任者が終始同伴できること</p> <p>④エントリーの際は障がい者手帳の写しを大会事務局に提出のこと</p> <p>※本種目の対象者であっても、本大会での他種目への出場は可</p> <p>《演武内容について》</p> <p>①単独演武・組演武(三人掛けを含む)・団体演武のいずれも認める</p> <p>②組演武においては、健常者との組合せを認める</p> <p>③介護者同伴の演武を認める</p> <p>④演武に際し、車いす、杖等の補助器具の使用を認める</p> <p>⑤武器、法器の使用は認めない</p> <p>《注 意》</p> <p>①会場の大きさや来場者数の多さ等、特殊な環境要因によって発作等を引き起こす危険がある場合は、大会参加の是非を慎重にご判断下さい。</p> <p>②大会会場においては、応急措置を行うこともできますが、症状によっては救急病院での診察・治療も想定し、健康保険証、障がい者手帳、療育手帳等、治療に要するものを携行してください</p>
20	剛法演武の部について	<p>①使用科目：資格に応じたものを使用する。</p> <p>②演武構成：全て剛法のみとする。</p> <p>③防具着用を義務とする。尚、ボディプロテクター・ファールカップについては、道衣インナーでの使用を認める</p> <p>④防具：(一般財)少林寺拳法連盟公認のものとする。使用する防具の種類は問わない</p> <p>⑤武器、法器の使用は認めない</p>
21	その他の種目について主な変更点(詳細は次ページで確認こと)	<p>親子の部：A(子供が12歳以下、U12と明記) B(子供が中学生以上、O13と明記)と2種目に分かれる</p> <p>《親子の部A規定》</p> <p>①演武時間は1分～1分30秒</p> <p>②構成内容については、1構成の最後技の極め、固めは子供が行う</p> <p>③柔法の逆技については子供のみ使用できる 抜技においてはこの限りではない</p> <p>※親子の部Bについては、一般の部と同様</p> <p>《男女が組む場合の規定》</p> <p>①女性は守者のみ。構成の最後の技の極め、固めは女性が行う</p>
22	団体演武について	<p>補欠拳士を除いた出場拳士の資格に応じた科目を使用する</p> <p>※団体演武における「資格の応じた科目」については、補欠拳士を除いた出場拳士の資格に基づいたものとする。違反は資格外科目の使用として総合点より10点減点とする</p> <p>※補欠拳士に高段者がエントリーしていても、使用科目が実際に演武をする拳士の資格に応じていない場合は総合点より10点減点とする</p>
23	女性の出場者等による、投げに対して宙で回転する受身について	<p>演武における投げに対して、宙で回転する受身については、不十分な技に対して自分から受身で飛ぶ、無理な体勢から不十分な受身を行うなど、かえって危険な受身も見受けられる。性別や年齢層に配慮した安全管理、受身に伴う床に落下する衝撃や不十分な受身の身体への影響を踏まえて、以下の点に留意すること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大会だけでなく修練も含めて、受身を繰り返すことによる身体的な影響や年齢、性別、身体能力による安全面の問題などを十分に検討する ・不十分な体勢の受身や技の極めに関係なく自ら飛ぶような受身や構成的に不自然な受身であれば「構成・リズム・節度」の評価に反映される ・中学生以下は宙で回転する受身は禁止。違反した場合は総合点から15点減点とする。

NO	項 目	内 容
24	出場申込方法	<p>出場申込に関しては、必ず所属長は所属内の出場者状況を把握しておくこと 所属長の承諾なしでは申込出来ません</p> <p>【注意事項】</p> <p>①個人情報保護法のため、毎年申込時の各団体担当者のアドレスは、大会終了後に削除しています。<u>申込受付の自動返信は行わない</u>ことをご了承ください</p> <p>②大会出場申込にあたって提供していただく個人情報については、大会の運営及びこれに付随する業務以外には利用せず、適切に管理します</p> <p>③個人情報の参照・訂正・削除を求められた場合は、合理的な範囲内でこれに応じます</p> <p>≪申込方法≫</p> <p>東京都連盟ホームページに全団体共通の申込専用ページを作成することを検討中 申込方法については別途連絡致します</p> <p>※出場申込に関する問合せは、全てe-mailにてお願いします。(NO29参照)</p>
25	出場申込〆切	<p>〆切は、期限厳守のこと。ご協力お願いします。</p> <p>〆切日以降の受付は一切致しません。</p> <p>申込〆切日 5月26日(金) 厳守</p> <p>参加料の振込がない場合、出場できませんのでご了承ください</p>
26	申込内容の変更・取消について	<p>≪申込変更・取消≫</p> <p>変更〆切:6月3日(土)</p> <p>〆切以降の変更は、出場者名簿、肩章ワッペンにも掲載されない場合があります</p> <p>※大会当日、出場予定コートで全拳士競技終了時不在の場合は、棄権とみなすので、出場コートは間違えないように注意のこと</p>
27	参加料・大会に関する納入方法について	<p>①団体単位で責任者が一括して東京都大会専用下記の口座へ、他費用と合わせて納入のこと</p> <p>②大会に関する諸費用の納入〆切は5月26日(金)とする。期限厳守のこと</p> <p>③振込の際には団体名 納入金の内訳を必ず明記してください。</p> <p>≪納入先口座≫</p> <p>ゆうちょ銀行 口座番号 00160-3-767524</p> <p>加入者名 少林寺拳法東京都大会口</p>
28	入場券について	<p>館内は、全て指定席とする。入場券:1枚あたり1,000円</p> <p>出場者席はアリーナ内観客席には設置していません。観戦希望の場合は必ず入場券を購入してください。</p> <p>申込〆切 5月26日(金)</p> <p>≪申込方法≫</p> <p>大会出場申込フォームの1面に記載されている所定の欄に必要な枚数を記入し申し込んでください。</p>
29	問合せ先	<p>大会に関する問い合わせについては、e-mailのご利用をお願いします。担当者より回答します</p> <p>問合せ先e-mail: jimukyoku-tokyo@shorinjikempo-tokyo.com</p>
30	復興支援・地元とのコラボ企画	<p>「東日本大震災」で被害にあわれた方々や地域への復興支援、及び地元足立区とのコラボ企画を予定しています。(エリア内では「陸前高田市」を中心とした物産展の出店を予定)</p>
31	館内ブースの設置について	<p>中学、高校に少林寺拳法部を設置している学校を紹介します。来春進学後、部活動で少林寺拳法を続けたいと考えている方はお立ち寄りください。担当者より説明を受けることができます</p>
32	その他	<p>7月下旬に開催される世界大会の壮行会も実施します</p> <p>出場者に別途演武披露を行なって頂く予定です</p> <p>本選終了後には全員参加のアトラクションも実施します</p>
33	肖像権について	<p>①本大会開催中における関係者および出場者の肖像権に関しては、大会実行委員会が管理いたします。今後の少林寺拳法の普及に活用させていただきますので予めご了承下さい。</p> <p>②本大会開催中は、大会実行委員会から許可された者以外のアリーナ内での撮影を禁止します。</p>

2017年 少林寺拳法東京都大会種目一覧表

	NO	種目	出場資格等	男	女	演武内容	演武時間	
一般組演武	1	男子五段以上	①都連加盟団体に在籍している拳士を対象とする	◎	×	自由	1分30秒～2分	
	2	男子四段	②有段者の資格は上位の資格に合わせる	◎	×	自由	1分30秒～2分	
	3	男子三段	③年齢は大会当日の年齢を有効とする	◎	×	自由	1分30秒～2分	
	4	男子初・二段	④資格は原則として申込時点の資格を有効とする	◎	×	自由	1分30秒～2分	
	5	男子級	⑤道院拳友会及びスポ少等、高校拳法部以外の拳士は、原則一般の部に出場のこと	◎	○	自由	1分30秒～2分	
	6	女子三段以上		×	◎	自由	1分30秒～2分	
	7	女子初・二段		×	◎	自由	1分30秒～2分	
	8	女子級		×	◎	自由	1分30秒～2分	
	9	男女有段		◎	◎	自由	1分30秒～2分	
	10	男子マスターズ		・上記①～③と同様の条件とする	◎	○	自由	1分30秒～2分
	11	女子マスターズ		・男子45歳以上 女子35歳以上 年齢制限を設ける	×	◎	自由	1分30秒～2分
	12	親子A		・子供は小学生以下、祖父母も可、武階不問	○	○	自由	1分～1分30秒
	13	親子B		・子供は中学生以上、祖父母も可、武階不問	○	○	自由	1分30秒～2分
	14	夫婦	・夫婦のみ、武階不問	◎	◎	自由	1分30秒～2分	
大学生	15	大学生男子	・大学拳法部に所属している拳士を対象とする	◎	×	自由	1分30秒～2分	
	16	大学生女子	・武階不問	×	◎	自由	1分30秒～2分	
	17	大学生男女		◎	◎	自由	1分30秒～2分	
高校生	18	高校生男子	・高校拳法部に所属している拳士を対象とする	◎	○	自由	1分30秒～2分	
	19	高校生女子	・武階不問	×	◎	自由	1分30秒～2分	
中学生	20	中学生男子	・全団体の中学生拳士を対象とする	◎	○	自由	1分30秒～2分	
	21	中学生女子	・小学生との組み合わせ可	×	◎	自由	1分30秒～2分	
共通	22	剛法演武	・全団体を対象とする。武階不問 防具着用の義務	○	○	自由	1分30秒～2分	
小学生組演武	23	小学生自由	・小学生以下の男女	○	○	自由	1分～1分30秒	
	24	小学生1級	・24～31種目は規定組演武とし、今年度全日本少年少女武道錬成大会の規定を準用する	○	○	規定	制限なし	
	25	小学生2級		○	○	規定	制限なし	
	26	小学生3級		○	○	規定	制限なし	
	27	小学生4級		○	○	規定	制限なし	
	28	小学生5級		○	○	規定	制限なし	
	29	小学生6級		○	○	規定	制限なし	
	30	小学生7級		○	○	規定	制限なし	
	31	小学生8級～見習		○	○	規定	制限なし	
団体演武	32	一般団体		・大学・一般を対象とする 武階不問 6または8名	○	○	構成編成に規定	1分30秒～2分
	33	中学・高校生団体	・中学・高校生を対象とする 武階不問、6または8名	○	○	構成編成に規定	1分30秒～2分	
	34	小学生団体3級以上	・小学生以下を対象とする。武階不問 6または8名	○	○	構成編成に規定	1分～1分30秒	
	35	小学生団体4級以下		○	○	構成編成に規定	1分～1分30秒	
運用法	36	男子運用法	・都連・実業団・学士連盟拳士を対象とする	◎	×	攻守分けの立合	1分30秒	
	37	女子運用法	・初段かつ18歳以上	×	◎	攻守分けの立合	1分30秒	
共通	38	障がい者の部	・大会要項参照のこと	○	○	自由	制限なし	

(凡例:◎⇒必須、○⇒可、×⇒不可)

注意事項

- ① エントリー数が多数または少数の種目については、分割または統廃合を行う場合がある
- ② 入賞の基準は、10組以上のエントリーがあった種目については6位まで、9組以下の種目は、最大3位までとする
- ③ 級拳士において見習～4級は3級科目まで、3～1級は初段科目まで可 「小学生の自由の部」に出場する見習～7級拳士は6級科目までの使用可
- ④ 小学生が他の種目に出場する場合は、演武時間は出場種目に合わせる。但し、禁止技の規定は全て適用する
- ⑤ 小学生の規定組演武は、2017年度少年少女錬成大会と同じ演武を採用する
- ⑥ 武階の差は、原則1階級までとするが、当大会では制限は設けない。
- ⑦ 種目によっては6月18日に予選を実施 対象種目:運用法の部

2017年 少林寺拳法東京都大会 競技に関する詳細

- ①競技ならびに審査内容については、(財)少林寺拳法連盟競技規則・審判規則に基づく
- ②防具の使用は、(一般財)少林寺拳法連盟公認防具のみの使用とする
- ③法器、武器(金属、木製問わず)の使用は禁止する
- ④出場資格については、本大会申込時の種目(資格)で出場のこと (袖章、帯についても、上記に準ずる)
- ⑤指定ゼッケンを着用すること
- ⑥申込切時点、出場申込が多数または少数の種目については、**分割または統廃合**を行う場合がある
- ⑦原則として、同資格の拳士と組み、該当する種目に出場する。
- 共 但し、やむを得ず上級資格の拳士と組む場合は、上級資格の部に出場する。 **武階が2階級以上離れて本大会に出場することは可**
- 通 ⑧組演武はすべて2人一組とし、三人掛けは不可とする(障がい者の部は除く)
- 事 ⑨「**演武の構成**」において、**柔法で技に取り掛かる前の払いと2連までの反撃は1構成とみなさない。剛法の場合、攻者による2連攻までのやり直しは1構成とみなさない**
- 項 ⑩使用科目は資格に準じたものとする
- ⑪資格外の科目の使用は10点減点とする。但し、一般級拳士で使用する技は見習～4級は3級科目まで、3～1級は初段科目まで可。小学生7級～見習においては、少年部6級科目まで使用可
- ⑫<男性と女性が組む場合の規定内容>
- ⅰ)男性の女性に対する技の極め、投げ、固めを禁止する
- ⅱ)技の構成は全て女性が守者から始まり、その後に関く連反攻でも女性が柔法・剛法のいずれも技を極め、固めを行うこと
- ⅲ)違反した場合は、総合点より15点減点とする。
- ⑬<親子の部A:規定内容>
- ⅰ)1構成の最後技の極め、固めは子供が行う
- ⅱ)柔法の逆技については子供のみ使用できる 抜技においてはこの限りではない
- ⅲ)違反した場合は、総合点より15点減点とする。
- ⑭<受身に関しての但書き内容>
- ⅰ)大会だけでなく修練も含めて、受身を繰り返すことによる身体的な影響や年齢、性別、身体能力による安全面の問題などを十分に検討する
- ⅱ)不十分な体勢の受身や技の極めに関係なく自ら飛ぶような受身や構成的に不自然な受身であれば「構成・リズム・節度」の評価に反映される
- ⅲ)中学生以下は宙で回転する受身は禁止。違反した場合は総合点から15点減点とする。

種目名	演武内容の規定 指定拳系等	種目内容詳細
1 男子五段以上の部		演武時間:1分30秒～2分 1～6構成内容についてはすべて自由とする 武階の2階級以上の差は都大会の出場は可。
2 男子四段の部		演武時間:1分30秒～2分 1～6構成内容についてはすべて自由とする 武階の2階級以上の差は都大会の出場は可。
3 男子三段の部		演武時間:1分30秒～2分 1～6構成内容についてはすべて自由とする 武階の2階級以上の差は都大会の出場は可。
4 男子初・二段の部		演武時間:1分30秒～2分 1～6構成内容についてはすべて自由とする 武階の2階級以上の差は都大会の出場は可。
5 男子級の部	男女が組む場合は規定あり 受身に関して但書あり	演武時間:1分30秒～2分 1～6構成内容についてはすべて自由とする 見習～4級:3級習得科目まで使用可 3～1級:初段習得科目まで使用可 級拳士の男女の組合せについては、男子級の部に出場のこと
6 女子三段以上の部	受身に関して但書あり	演武時間:1分30秒～2分 1～6構成内容についてはすべて自由とする 武階の2階級以上の差は都大会の出場は可。
7 女子初・二段の部	受身に関して但書あり	演武時間:1分30秒～2分 1～6構成内容についてはすべて自由とする 武階の2階級以上の差は都大会の出場は可。
8 女子級の部	受身に関して但書あり	演武時間:1分30秒～2分 1～6構成内容についてはすべて自由とする 見習～4級:3級習得科目まで使用可 3～1級:初段習得科目まで使用可
9 男女有段の部	男女が組む場合の規定あり 受身に関して但書あり	演武時間:1分30秒～2分 1～6構成内容についてはすべて自由とする 有段者のみを対象とする。男女級の組み合わせは、男子級の部へ出場のこと
10 男子マスターズの部	男女が組む場合は規定あり 受身に関して但書あり	演武時間:1分30秒～2分 1～6構成内容についてはすべて自由とする 男女の組み合わせはこの種目に出場のこと
11 女子マスターズの部	受身に関して但書あり	演武時間:1分30秒～2分 1～6構成内容についてはすべて自由とする

	種目名	演武内容の規定 指定拳系等	種目内容詳細
12	親子の部A	親子の部Aの規定あり (共通事項参照)	演武時間:1分～1分30秒 1～6構成内容についてはすべて自由とする 子供が各構成最後の技の極め、固めを行う 柔法の逆技においては子供のみ使用できる 上記を違反した場合は総合点より15点減点とする 小学生以下への禁止科目は、下記の表を参照のこと
13	親子の部B	男女が組む場合は規定あり 受身に関して但書あり	演武時間:1分30秒～2分 1～6構成内容についてはすべて自由とする 男女の組み合わせの規定は採用する
14	夫婦の部	男女が組む場合は規定あり 受身に関して但書あり	演武時間:1分30秒～2分 1～6構成内容についてはすべて自由とする 男女の組み合わせの規定は採用する
15	大学生男子の部		演武時間:1分30秒～2分 1～6構成内容についてはすべて自由とする 武階は不問
16	大学生女子の部	受身に関して但書あり	演武時間:1分30秒～2分 1～6構成内容についてはすべて自由とする 武階は不問
17	大学生男女の部	男女が組む場合は規定あり 受身に関して但書あり	演武時間:1分30秒～2分 1～6構成内容についてはすべて自由とする 武階不問
18	高校生男子の部	男女が組む場合は規定あり 受身に関して但書あり	演武時間:1分30秒～2分 1～6構成内容についてはすべて自由とする 武階は不問 男女の組み合わせはこの種目に出場のこと、男女の組み合わせの規定は採用する ※道院拳友会及びスポ少の拳士は、原則一般の部に出場のこと
19	高校生女子の部	受身に関して但書あり	演武時間:1分30秒～2分 1～6構成内容についてはすべて自由とする 武階は不問 ※道院拳友会及びスポ少の拳士は、原則一般の部に出場のこと
20	中学生男子の部	男女が組む場合は規定あり 受身に関して但書あり	演武時間:1分30秒～2分 1～6構成内容についてはすべて自由とする 男女の組み合わせはこの種目に出場のこと、男女の組み合わせの規定は採用する
21	中学生女子の部	受身に関して但書あり	中学生と小学生の組合せでの出場は都大会では可
22	剛法演武の部	演武構成に規定あり (右記参照)	演武時間:1分30秒～2分 1～6構成内容についてはすべて自由とする 演武構成:全て剛法のみとする。 防具着用を義務とする。尚、ボディプロテクター・ファールカップについては、道衣インナーでの使用を認める 防具:(一般財)少林寺拳法連盟公認のものとする。 使用する防具の種類は問わない

	種目名	演武内容の規定 指定拳系等	種目内容詳細
	23 小学生自由の部		演武時間:1分～1分30秒 1～6構成内容についてはすべて自由とする 小学生以下への禁止科目は、下記の表を参照のこと
	24 小学生1級の部	規 定 (2017年度少年少女錬成大会で 行う規定組演武)	組合せは小学生以下、未就学児も出場可。演武時間の規定は設けない。 組演武内容は2017年度少年少女錬成大会で使用される規定組演武を採用
	25 小学生2級の部		
	26 小学生3級の部		
	27 小学生4級の部		
	28 小学生5級の部		
	29 小学生6級の部		
	30 小学生7級の部		
	31 小学生8級～見習の部		
	32 一般団体の部	団体演武構成の規定あり (右記参照)	演武時間:1分30秒～2分 演武構成については、1・6構成を単独演武 2～5構成を組演武(2人1組)とする(3人は不可、違反の場合は総合点から15点減点) 単独演武は、以下の基本単独法形より、1構成目、6構成目で各々1技選択し、一方向のみで行う 《基本単独法形》 天地拳第1～6系、義和拳第1・2系、龍王拳第1・3系、龍の形、紅卍拳、白蓮拳第1系 使用する科目は、出場する構成メンバーの最高資格者に応じた範囲までとする 合図的は動き、気合は不可とし、総合点より5点減点する 使用科目とエントリーに関する注意点は「大会要項23」を確認のこと
	33 中学・高校生団体の部		
	34 小学生団体3級以上の部	団体演武構成の規定あり (右記参照)	演武時間:1分～1分30秒 構成人数は6か8名。構成メンバーの最上級資格によって、「3級以上の部」または「4級以下の部」に出場 演武構成については、1・6構成を単独演武 2～5構成を組演武(2人1組)とする(3人は不可、違反の場合は総合点から15点減点) 単独演武は、以下の基本単独法形より、1構成目、6構成目で各々1技選択し、一方向のみで行う 《基本単独法形》 天地拳第1～6系、義和拳第1・2系、龍王拳第1・3系、龍の形(逆小手単演)、卍の形、白蓮拳第1系 使用する科目は、構成メンバーの最高資格者に応じた範囲までとする 号令、気合を合図として用いることを可とする
	35 小学生団体4級以下の部		
	36 男子運用法の部	攻守を分けた立合評価法	出場資格:①18歳以上且つ資格が初段以上であること ②東京都連盟、関東実業団連盟、 東京都を拠点とした関東学生連盟に登録している拳士 申込は、大会出場申込と同一のエントリーシートで申込のこと 7月16日は大会運営スケジュール上本選のみ行う 別途予選会を6月18日に実施予定
	37 女子運用法の部		
	38 障がい者の部	単独演武・組演武・団体演武 いずれも可(右記参照)	単独演武・組演武・団体演武のいずれも認める 組演武においては健常者との組合せは可 介護者同伴の演武も可 三人掛けの組演武も可 演武に際し、車いす・杖等の補助器具の使用を認める 武器・法器の使用は認めない
備 考	小学生に対する禁止技		肘抜より前天秤・送巻天秤・逆手投・龍投・外巻天秤・切返天秤・切返巻天秤上受逆手投・逆天秤・腕十字固・天秤固・送天秤捕(二種)・吊上捕・吊落・袖 巻天秤・外巻落・投技に対し宙で回転する受身(身体全ての部位が地面から離れる受身)・刈足及び後刈倒 ※「一本背投」や「肩車」に対して大車輪を用いた受身については小学生の部禁止技としない
	中学生に対する禁止行為		中学生以上が小学生に対して龍華拳、五花拳、金剛拳、羅漢拳(逆技)を用いることも禁止とする 投技に対し宙で回転する受身(身体全ての部位が地面から離れる受身)